

Kakehashi いさはや

2023

Vol.9

令和5年7月発行



2022-23

令和4年度 活動報告



2022

令和4年度 活動報告

かけはしいさはや

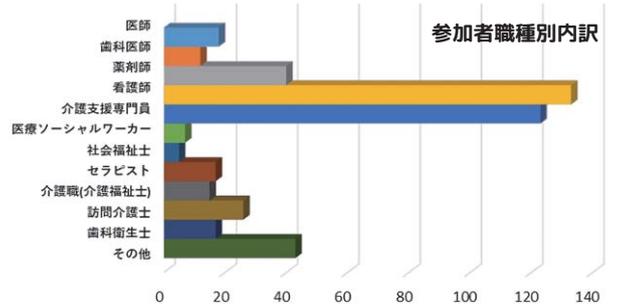
① 在宅医療・介護関係者研修会

6回開催 参加者 延べ456名

令和4年度も三師会、諫早市在宅ケアサークル等にご協力いただき、研修会を開催しました。オンライン研修が主流となるなか、集合研修も再開し、多くの方からご好評いただきました。

研修テーマは、事前に調査していた三師会の先生方に講演してほしいテーマから、ハラスメント・ACPなど多岐にわたる研修テーマで開催しました。

また、「長崎県主任介護支援専門員更新研修受講要件対象研修」として、修了証明書を延べ25名の方に交付しました。



② 相談支援

当センターに寄せられた相談件数 **15件**

相談事例

介護支援専門員や医療連携室相談員等から在宅医療・介護に関する相談に対し、電話や窓口での情報提供や助言に努めました。

60代女性。すい臓がんステージIV。諫早市内の長男宅へ退院希望。在宅医を紹介してほしい。
【市外医療連携室相談員】

患者の詳細を確認し、担当理事へ相談。長男宅近隣の在宅医療機関へ依頼し、了承されたため、連携室へ連絡。その後、訪問看護、訪問薬局、ケアマネも決まり、退院前カンファレンスも行われ、自宅退院となった。

相談者内訳



80代男性。要介護3。小腸ストーマ、IVHあり。施設入所希望で、サ高住・有料も含めて施設を探している。どこか受け入れてくれるところはないか。
【市外ケアマネ】

IVH管理ができる施設情報はなく、医療処置のある利用者を受け入れている施設に問い合わせたが対応不可。特養、介護医療院の相談を勧めた。その後、長崎市内の有料老人ホームへの入所が決まった。

③ 医療・介護の資源の把握

当センターのホームページに市内の在宅医療機関や訪問歯科診療所・訪問薬局・在宅介護サービスや高齢者施設の情報を定期的に更新しました。

令和4年度は訪問看護事業所や訪問介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所について、詳細な情報を収集し掲載しています。

相談にもあった介護タクシー・福祉タクシーについても、市内の事業所を調査し、令和5年5月にホームページに掲載しています。



「こんな情報もあれば…」と思われたら、かけはしいさはやにお気軽にご相談ください。

4 情報紙Kakehashiいさはや

Vol. 6 / Vol. 7

“自宅での暮らしを^{みまも}看^{まも}護^もるということ”



Vol.6、Vol.7は、訪問看護師にスポットをあてた内容にしました。

Vol.6では、事例を通して、在宅療養導入期における訪問看護の役割について、お話を伺いました。

Vol.7では、意思決定場面における利用者・家族への向き合い方、最期を迎えるための支援についてお話を伺いました。

Vol. 8

“自宅で看取るとということ”



Vol. 8は、自宅での看取りを経験された方のインタビューを掲載しています。

葛藤もあがりながら、自宅で看取ると決めた思いや家族の関わり、看取り後の思いなど貴重なお話を伺うことができました。

5 在宅医療と介護の市民講演会

2回開催 参加者 延べ128名



令和4年度は飯盛地域、長田地区で開催しました。

諫早医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力を得て、在宅医療について、それぞれの先生方からお話をいただきました。また、諫早市の地域包括ケア推進課からは地域包括ケアの取組も説明していただきました。どちらの会場も約60名ほどの参加者で、皆さん熱心に聞き入っていました。



【参加された方の感想】

- ・最後は入院してお任せではなく、専門の先生方のサービス・医療を受けながら家族の支えがあり、安心して穏やかにその時まで生きていけたらいいなと思いました。
- ・両親ともに80代で2人暮らし。子供だけで抱え込むのではなく、積極的にプロの方に相談していけると思うと、勇気と希望が持てました。



令和4年度（第1回・第2回）諫早市在宅医療・介護連携推進会議に出席しました。ACP普及啓発の取組について意見が交わされました。ACPという言葉もまだ広く認知されていない状況もあり、多くの方の目につくような周知方法が提案されていました。また、完成した冊子は医療機関・居宅介護支援事業所、市役所や図書館などで配布されています。

6 お気軽座談会

多寿喜会 喜々津団地公民館 22件

市民の皆様在宅医療や介護について理解を深めてもらうために、老人会やサロンに出向き、4つのテーマでお話をしています。



【参加された方の感想】

- ・まだ元気に過ごしているので、先のことかと思っていたのですが、考えておくことが必要だと思いました。
- ・常日頃から考えておかないと答えが出ない。日常、相談、話し合える状況を作りたい。



令和4年度活動報告書はホームページにも掲載しています。



令和4年度 第2回 在宅医療と介護の市民講演会を開催しました

令和5年3月25日(土)
長田みのり会館

長田みのり会館にて、市民講演会を開催しました。

地域包括ケア推進課からは地域包括ケアについての取り組みを、医師の藤山先生からは、在宅医療の事例を紹介しながら、ご家族としっかり話し合い、思いを共有することが大切であるとお話いただきました。

歯科医師の原先生からは、お口の環境と様々な疾患との関連についてや定期受診の大切さなどについてのお話を、薬剤師の高崎先生からは、薬局薬剤師の在宅訪問でできることについて、薬の保管状況や残薬の整理などをお話



しいたいただきました。参加者の方からは「専門の先生方のサービスを受けながら家族の支えがあり、安心して穏やかにその時まで生きていけたらいいな、と思いました」などのご意見をいただきました。

1. ご存知ですか 介護保険
～諫早市の地域包括ケアの
取り組みについて～
市地域包括ケア推進課 新野純子
2. 当院での在宅医療の現状
藤山循環器内科医院 院長 藤山友樹
3. 口は禍のもと!?お口は健康の入り口です
ヒカリデンタルクリニック 院長
原美和子
4. 薬局薬剤師はこんなこともできる
むつごろう薬局 管理薬剤師
高崎正磁

在宅医療・介護関係者研修会を開催しました

令和5年3月15日(水)

『神経難病患者の在宅医療について』

ごんどう内科・脳神経内科クリニック

院長 権藤 雄一郎先生

ごんどう内科・脳神経内科クリニック院長、権藤先生をお迎えし、研修会を開催しました。神経難病患者への告知は、患者・家族の理解度やニーズを確認しながら、継続的に繰り返し行うことが必要となり、早期から医療・介護者の支援体制を構築することが重要であること、また、病状が進



行していく中で、胃ろうや人工呼吸器の選択を迫られる意思決定場面では、医療・介護者も患者・家族の“後悔しない生き方”にむけた支援を、多職種で考えていかなければと思いました。

令和5年度 研修会予定

当センターでは今年度も三師会にご協力いただき、研修会を開催予定です。

主任ケアマネジャーの方で必要な方には修了証明書も発行いたします。

詳細はホームページでお知らせしますのでご確認ください。

19時～20時

オンライン研修(予定)

9月28日(木) 講師：池田 理恵先生
(こはく堂薬局)

11月 歯科医師会
R6.3月 医師会



介護タクシー・福祉タクシー事業所の
詳細を掲載しました

当センターのホームページに、新しく“介護タクシー・福祉タクシー”事業所の詳細情報を掲載しています。

ホームページトップ画面の“その他のサービス”をクリックしてください。



諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはしいさはや

〒854-0061 諫早市宇都町29-1 健康福祉センター内
TEL: 46-3166 FAX: 46-3167
E-mail: isahaya.zaitaku.renkei@iaa.itkeeper.ne.jp
URL: <https://kakehashi-isahaya.com/>

かけはしHP

